



アートな麻布に魅せられて③ 高架下によみがえった「一の橋公園」

芝生の^{つきやま}築山と長いカラフルなすべり台。屈曲する古川の上に広場のような橋が架かる。ここは古川の両岸を繋ぎ、麻布十番の駅前広場ともなる水と緑の公園だ。休園から15年の歳月を経て、令和5(2023)年6月に新しく生まれ変わった。春はサクラ、夏は水の^{らんぷ}乱舞、秋はさわやかな風がわたる。完成した公園は、ときおりアートな瞬間をのぞかせる。公園整備を担当された脇田氏、柴田氏にお話を伺った。

築山からならかにすべり降りるローラーすべり台。これまでの麻布地区では見かけなかったものだ。築山の北側(写真の右方向が北)に手すり付きの階段があり、安全に頂上へ登ることができる。頂上にはネット遊具の出入り口とすべり台の入り口がある。すべり台を降りたあたりから、首都高越しに一の橋交差点のMAXPLAN AZABU10ビル*1を望む。

緑の築山は大きな秘密を隠している

一の橋公園は、昭和28(1953)年に港区立公園として開設されたが、東京都の古川整備工事のため、平成20(2008)年度に一旦閉鎖した。そしてこの夏、高架下であることを感じさせない明るい癒しの空間となってよみがえった。整備のポイントを脇田氏に伺った。

「高架下と聞くとあまりいいイメージではないかもしれませんが、そこで、日陰に長いベンチを置いて、憩いの空間となるようにしました。南側のゾーンには、東京都の建てた地下管理用の建物がありますが、これを築山で覆っています」

築山には長いすべり台やネット遊具が据えられた。そしてボルダリングを楽しむ壁と緑の山が生まれた。その地下には、東京都が整備した「古川地下調節池」*2がある。洪水を一時貯留するものだ。この建物には、地下の調節池にたまる泥などを搬出する管理車両が出入りするのためのエレベーターがあるのだ。

湧き出る泉と歩く樹木、そして噴水のある橋

古川は一之橋を過ぎると大きく東へ曲がる。この曲がり角に新しい橋が架けられた。橋と緑について柴田氏に伺った。

「休園前には、古川に細い人道橋がありました。それを復活させるのではなく、古川で分断された公園を一体的に利用できるように、新規に幅の広い橋を架けました」



新しい橋に置かれた可動式プランターはベンチを備えている。



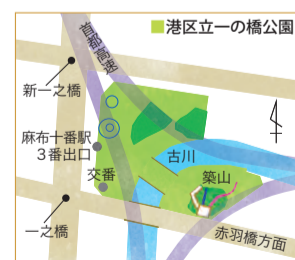
築山の西側にあるボルダリングの壁。地面は柔らかいゴムチップ舗装。配色は企画した職員の感性だ。

新しい橋は都の工事の中で架けられたが、表面は港区で整備した。両側に古川へ向けた噴水がある。公園には古くから地下に湧水*3があって、水質も良好なため、平成2(1990)年から公園でも利用していた。この湧水を活用して、左下写真のように、3種類の噴水が設けられている。

橋にはベンチを兼ねたプランターも置かれた。水遊び場噴水でも、その仕切りとして樹木で囲んでいる。高架下なので高木を植えられない。雨が当たらないし、日照も限られている。そのため、いずれも中低木でプランターも可動式。いわば歩く樹木だ。

「古くからこの公園にあったサクラを北側の道路際に2本残しています。公園周囲にも新たにサクラを植えました。中央には、センペルセコイアを植えています。とても大きくなる木です」

このセンペルセコイアはまだ若い。地球上で最も高くなる樹種のひとつだという。文字通りのシンボルツリーに育ってほしい。



- *1 「ザ・AZABU」55号「アートな麻布に魅せられて」③参照。
- *2 古川地下調節池。古川の洪水を五之橋付近で取水し、貯留する地下施設。平常の水位に戻ったら、一之橋付近で放水する。(港区麻布地区総合支所まちづくり課)
- *3 東京電力パワーグリッド株式会社の地下ケーブル用トンネル内に、1日平均350～400tの地下水が湧いている。これを噴水にして古川へ放流して、河川の浄化にも役立っている。(港区麻布地区総合支所まちづくり課)



(左) 水幕壁泉: 夜訪れると、高架下の交差点でひととき目立つ水幕の輝き。午前5時から翌午前1時まで水が流れる。夜間のライトアップは、建設中に生まれたアイデアと伺った。

(右上) 水遊び場噴水: 夏は子どもたちの水遊びに湧水が活躍する。10分間ずつの噴射が1時間に2回の割合。7月から9月の午前8時から午後7時まで稼働。

(左下) フリッジ噴水: 古川をわたる広い橋の両側に、噴水の滝が現れる。夜間はカラーのライトアップ。噴射は5分間で1時間に1回の割合。

*いずれも湧水のため、計画通りに運転できない場合もある。



港区立一の橋公園

所在地: 港区東麻布三丁目9番1号 一之橋交差点の交番隣。地下鉄「麻布十番」駅3番出口横。

面積: 4997.19平方メートル

開設年月日: 昭和28年4月1日

今回整備後の利用再開: 令和5年6月24日(竣工式挙行)

公園概要は下記のホームページを参照してください。

<https://minato-park.jp/azabu/parks/ichinohashi/>

取材協力: 港区麻布地区総合支所まちづくり課



麻布びと

未来へ残したい麻布の声



令和5(2023)年9月 賢崇寺にて

麻布十番商店街の入口に位置する明治19(1886)年創業の「きものアートすなが」。3代目店主である須永達雄さんは、麻布十番商店街振興組合会長、港区社会福祉協議会会長として地域の発展にも尽力されています。今回は、少年時代の思い出から現在に至るまでの道のりをお聞きしました。

微笑みびとがいざなう

麻布十番の思い出

活発だった少年時代

—幼少期はどのように過ごされましたか？

昭和18年に南麻布で生まれ、十番商店街には家族が営む「須永呉服店」がありました。小さい頃の遊びは、賢崇寺の裏山で虫を捕ったり、小屋を建てたり。当時は、山の中を飛び回っていましたね。

老舗呉服店の3代目として

—ご家業を継がれたのはいつですか？

大学生の時に、親父が亡くなったんです。それまで家業を継ぐ意思はなくて、就職先も決まっていたくらい。卒業後、おふくろから「お店は私がかんばるから、あなたは京都へ修業に行っておきなさい」といわれ、京都へ行くことに。戻ってからは「清水とき・きもの学園」に通って着付けから勉強しました。生徒の中で男は私一人……楽しかったけどね(笑)。その時に習ったことは、今の糧になっています。

—ご自身の代になって、変えられた点がありますか？

まず、売掛の商売をやめました。また、品揃えを工夫して、和小物を多く仕入れたりして店をお客様本位に作り変えました。海外のお客様が増えたので、英会話も習いましたね。そして、屋号を「須永呉服店」から「きものアートすなが」へ変えました。名前を変えないと、自分の意識も変わらないという感覚があって。親父の後をただ継ぐだけの商売はしたくなかったんです。

麻布十番商店街の移り変わりとともに

—商店街での活動についてお聞かせください。

まちづくり委員会の委員長時代、街並みを変えようという機運の高まりもあって、平成3年に商店街のアーケード撤去を進めました。アーケードの下に蛍光灯はあったんだけど、どうしても暗いでしょ。空が見える街にしたかったんです。その後、平成12

年に商店街の理事長になりました。(同年)9月にメトロ南北線、12月に都営大江戸線と、地下鉄の開通を機にお客様が増えてうれしかったですね。

—長きにわたり第一線で活動されていますが、その原動力は？

せっかく十番に関わるようになったんだからという思いかな。

—80歳になられたばかりという須永さん。若々しさの秘訣を教えてください。

いやいや、秘訣は何もないよ。休みの日？ 山が好きなんですね。山にはよく行きますね。昔は「麻布十番山岳会」というのをやってさ、商店街の人達と日本百名山を登ったりもしましたね。今年、八ヶ岳山麓の蓼科へ行きました。

—今年(2023年)は、4年ぶりに麻布十番納涼まつりが開催されましたね。

大きな事故もなく、大成功だったんじゃないですか。警察、消防署が万全の体制を敷いてくださったおかげです。商店街の平野理事長をはじめ、みんなよくやってくれました。

—麻布十番商店街の魅力は？

“繁華街”ではなく、今でも地元の“商店街”として地元を大切にしているところですね。

また、個々のお店が麻布十番商店街全体の総合受付になってお客様にご案内できる場所。あと、麻布十番ってね、店舗をビルに建て替えても、みんな十番が好きなんで、そのビルに住むんですよ。人に貸して郊外に移ることもできるのにやっぱり十番にいたい、そういう気持ちが好きですね。

きものアートすなが

住所：東京都港区麻布十番2-1-8 電話番号/FAX：03-3457-0323

取材協力

賢崇寺 東京都港区元麻布1-2-12

参考文献

麻布十番商店街振興組合広報誌「十番だより」



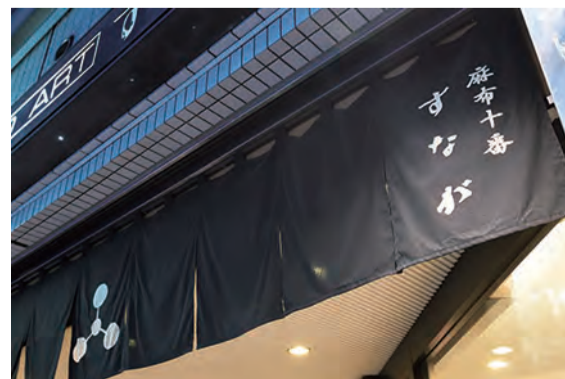
きものアートすなが
すながたっお
須永達雄さん(80歳)



大正2(1913)年 麻布十番商店街の風景
左手前に「須永呉服店」ののぼり



商品に添えられる手書きのPOP
海外のお客様も多いため、全てに英語名が併記されている



夕暮れ時、お店に明かりが灯ると、昼間とは違った趣を魅せる

何がでるか？

『麻布 街ガチャ』 できました

ワクワク
ドキドキ



麻布といえばたくさんの魅力に溢れた街ですが、もっとたくさんの人に知ってもらうプロジェクトがスタートしました。第一弾は、麻布の魅力を実際に手に取って、持って帰ってもらえるカプセルトイが登場です！

港区地域事業活性化プロジェクト「麻布の縁さ〜」

2022年から活動を開始した「麻布の縁さ〜」。港区麻布地区総合支所の区民参画組織・地域事業等の行政と協働する活動の歴代参加者がメンバーとなり、自らの知見・専門分野を活かして麻布地区に関する情報を専用のウェブサイトで継続的に発信したり、行政と協働する活動の中で得られた経験を活かして様々なイベントを企画・運営しています。

麻布の名物がたくさん詰まった『麻布 街ガチャ』

「麻布の縁さ〜」が麻布の歴史・文化・地元の史跡から持ち寄った「麻布の名物」の案から9種類に厳選して作成しました。解説のミニブックでも「麻布の縁さ〜」が知る人ぞ知る魅力を紹介しています。麻布でしか手に入らない麻布の名物達を是非手に取ってみてください！



六本木ヒルズ(森タワー)

300円でお家に六本木ヒルズが買えるかも??
夢があるカプセルトイです。



六本木交差点 ロゴ

スタイリッシュなデザインをそのままキーホルダーにしました。



がま池のガマガエル

麻布七不思議のがま池のがま。
写真は十番稲荷神社のかえるさんです。

東麻布かかし

かつて開催されていたかかしまつりのキャラクター。
東麻布っ子に大人気！

防災キャラクター 「あざぶら」

今回「麻布 街ガチャ」用に特別に描き下ろしてもらいました。

地域事業活性化 プロジェクトロゴ

麻布っ子であれば1つは持っていたいAZABUロゴ。
みんなで地域活性化しましょう！



西麻布交差点標識

あるようでなかった!? 交差点のキーホルダー。付けていると日常と非日常が混在する不思議な気分になります。



きみちゃん像

言わずと知れた麻布十番のランドマーク。
机の上ガパティオ十番になります。



「坂の聖地」

麻布は坂の街でもありますが、中でも4つの坂が集まる「坂の聖地」をモチーフにしました。



麻布十番納涼まつりでデビュー

麻布 街ガチャは8/26(土) 27(日)の麻布十番納涼まつりで初お目見え。大人も子どもも夢中になって、お目当てのものがでるかどうが一喜一憂していました。早速付けてくれたり、中には全種類出るまで回し続けるツワモノも……。

また、回して出たキーホルダーやアクリルスタンドを見て、麻布にご縁がある人は思い出を語ってくれたり、麻布の名物を初めて見た人は「麻布の縁さ〜」やオーディションで選ばれた「AZABUアンバサダー」が説明するエピソードに耳を傾けていました。麻布の魅力も少しずつ広がっていくと嬉しいです。

麻布地区総合支所に常設してありますので、是非回してみてください！





庭園東より両館を望む

麻布 未来写真館 成瀬正行邸

北条坂の華麗なる邸宅物語

大正8(1919)年、北条坂中腹の麻布広尾町3番地(現南麻布5丁目2)に壮麗な邸宅が竣工した。鹿鳴館等の設計で知られる英国人建築家ジョサイア・コンドルの最晩年の作品であり、「技能円熟の作として傑出し、気品高雅、みだりに他の追従を許さざるもの※」と評された成瀬正行邸である。このほど港区立郷土歴史館が所蔵する「成瀬家新館写真帳」をこの紙面で紹介する機会をいただいた。往時の建物や庭園の姿を数々の写真から披露しつつ、建築主の成瀬正行を中心に、この土地の明治期の所有者F・プリングリーから、昭和15(1940)年以降の所有者堤康次郎までストーリーを拡大し、この場所に連続と継がれた歴史を語りたい。

写真帳

この写真帳には、洋館・和館それぞれの内外と庭園の写真38枚が綴られている。奥付は無く、作成時期などの詳細はまだよくわかっていない。印刷物なので複数作成されたと思われるが、ほぼ劣化の無い美しい姿で保存され、公共の閲覧に供されているのは、現時点ではこの1冊だけかもしれないという大変貴重なものだ。



写真帳

成瀬正行と自邸

成瀬正行は明治9(1876)年生まれ。慶應義塾大学卒業後、第一期農商務省海外実業研修生に選抜されて、米国の機械製造会社で5年間学ぶ。帰国後は川崎造船所に勤務したのち大正3(1914)年に独立。神戸に機械商社「盛興商会」を起こし、基幹産業向けの電力・造船・炭鉱・製鉄などの機械を欧米各国から直輸入して巨万の富を築いた。43才で広尾町の自邸を新築すると、その2年後に盛興商会を廃業。以降は、東邦電力など国内の電力・ガス会社の重役を歴任し、また、兄の成瀬正恭(第十五銀行頭取)とともに、川崎造船所、千歳火災海上、千代田火災海上など、松方巖とその一族が関与する企業の重役にも名を連ねた。

成瀬邸は、北条坂に面して表門があり、門の奥に洋館と和館が並び、建物の奥には南傾斜の広大な庭園があった。

洋館は、コンドルの筆跡で註記が書かれている平面図(a)も現存しており、写真と照合すると、インテリアが図面の計画通りに実施されたことがわかる。一階は玄関ホール、応接室、客室、食堂がある社交の場、二階は書斎、衣粧室、寝室、浴室、和室があるくつろぎの場となっている。壁紙やカーペットをはじめとする室内装飾、家具の類はすべて英国から直接取寄せ、荷解にはコンドルがいちいち立ち会ったという。



成瀬正行

和館は、図面が残っておらず、詳細が明らかになっていないが、写真からは相当広い印象を受ける。和館の写真に「夫人室」「令嬢室」の記載があることから、正行夫婦と6男4女は和館で生活し、洋館は主に接客に使用されたのであろう。

庭園は、以前の所有者であるプリングリーが3-4年の歳月と巨費を投じて造った純日本式庭園を残し、庭を生かすことを考えて建物が配置された。

正行一家は、昭和初期に、世田谷区新町に転居する。その理由は明らかになっていないが、昭和恐慌が原因との説もある。成瀬邸は、昭和5(1930)年6月よりフランス大使館の借用となり、同年7月14日の独立記念祭では、ここで渋沢栄一が大使と会った記録も残る。しかしながら、のちに大使館は麻布富士見町(現在地)に移転。成瀬邸の借用は暫定的なものとなった。



プリングリー邸 池の右奥に藤棚、左奥に建物(b)



成瀬邸 庭園中央より再館を望む



「大正14年改正一万分の一地形図 三田」(d) 青枠が成瀬邸敷地



昭和38(1963)年 堤康次郎邸前庭(e)

成瀬邸以前(明治期のF・プリングリー)

成瀬正行と設計者コンドルの縁は、この土地の以前の所有者である英国人ジャーナリスト、フランス・プリングリーが繋いだものかもしれない。

コンドルとプリングリーはともに英国出身で、日本美術の収集・研究などを通じた深い交流があった。二人で日本画家の河鍋曉斎に弟子入りして、スケッチ旅行にも同行している。プリングリーは明治33(1900)年に自宅(借家)を火事で焼け出され、翌年広尾町に移転するまでコンドル宅に身を寄せた。コンドルは、同居する親友の邸宅建築や作庭を近くで見ていたのである。助言や助力をした可能性もある。成瀬正行がコンドルに洋館の設計を依頼したのは、建築家・造園家としての輝かしい実績に加えて、プリングリー邸とその庭園を熟知していたことも理由のひとつだったのではないだろうか。庭園の池越しにプリングリー邸を写した写真(b)(c)と成瀬邸の写真と見比べると、建物はほぼ同じ場所に位置しており、池と建物間にある芝生や立木、藤棚などの場所や形状も変わっていないことがわかる。コンドルは、亡友プリングリーの邸宅跡地に成瀬邸の竣工を見届けた翌年に、68才で没した。

成瀬邸以降(昭和期の堤康次郎・堤清二)

昭和15(1940)年頃、のちに西武グループを築きあげた実業家で政治家の堤康次郎が成瀬邸を購入する。康次郎が当時経営していた箱根土地株式会社は、「資産家が所有する広大な土地を区画分割して分譲する」事業に実績があり、麻布でも大正末期に17,328坪を分譲したとの記録がある。康次郎は約6,000坪あった成瀬邸敷地の東側3,500坪を分譲地とし、建物のある西側2,500坪を自邸とした。庭の池のほとりにごちまじりした別棟を建ててそこを住居とし、洋館は「外交の場として自由に使って欲しい」と、時の内閣総理大臣東条英機に供出。閣僚や軍の幹部らが頻りに出入りして「大東亜迎賓館」と呼ばれた。昭和20(1945)年5月の焼夷弾で建物は焼失し、門柱だけが残った。

昭和30年代後半の堤邸は、筆者幼少期の記憶がある。豪邸が建ち並ぶ広尾町のなかでも別格の「広大なお屋敷」で、北条坂に面した立派な門と塀は威厳たっぷり。その一方で、前庭で鳩と遊ぶ近所の

子供を静かに見守ってくれる懐の深さがあった。平成2(1990)年、康次郎の次男でセゾングループ代表の堤清二が、ここに迎賓館「米荘閣」を建設する。延床面積1800坪の豪華絢爛な建物だったが、同グループの巨額不良債権処理のために平成13(2001)年に売却された。現在はマンションが建っている。



表門 平成14(2002)年 成瀬邸時代から残る門の解体直前(f)



婦人応接室



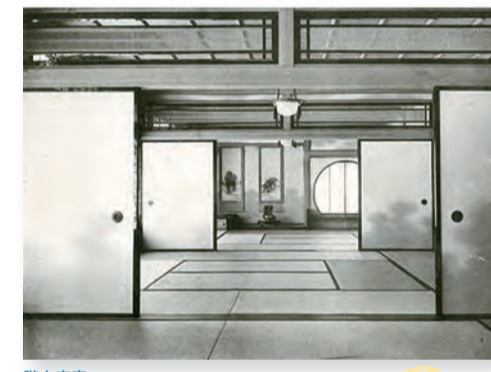
客室



衣粧室



浴室



階上客室

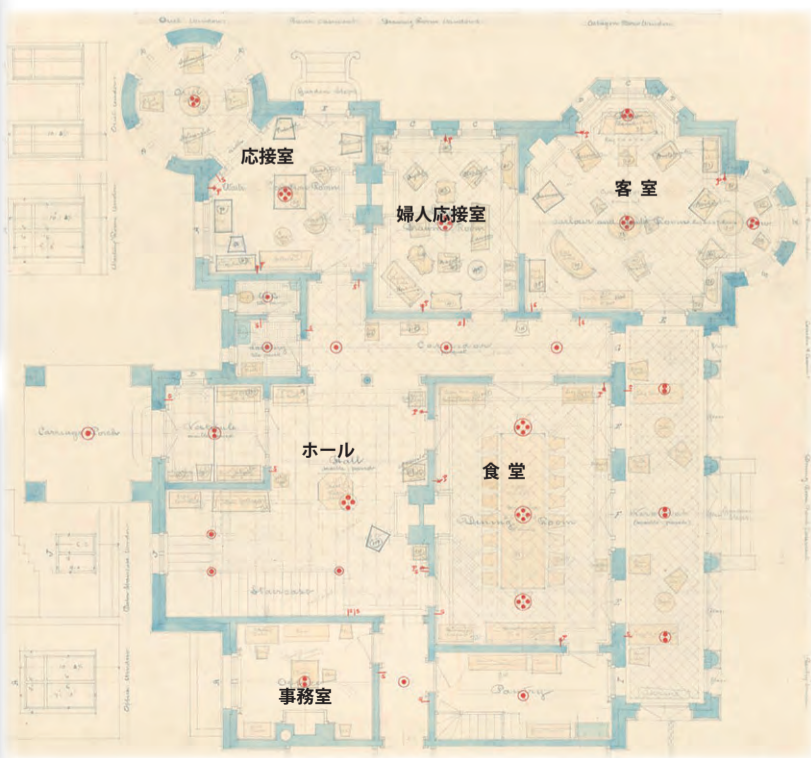
洋館1階



玄関ホール



食堂



「ジョサイア・コンドル建築図面 成瀬邸」(a)に室名を加筆

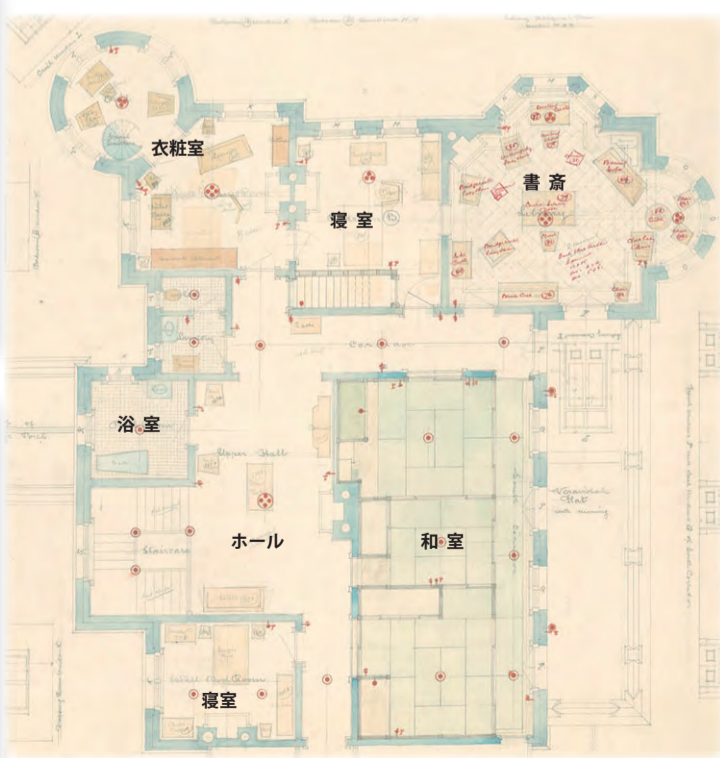


書斎



階上ホール

洋館2階



(a)

和館



令嬢室前より和館を望む



洋館より日本間屋上を望む

江戸時代	明治初期～	明治34年～	大正7年～	昭和15年～	平成16年～
北条相模守	丸大實徳 (4000坪)	プリングリー (6000坪)	成瀬正行 (6000坪)	堤康次郎 (2500坪)	マンション
下屋敷	百姓地 (2000坪)			分譲地 (3500坪)→	

- 協力 ●川上修介氏(港区立郷土歴史館学芸員)、沢木智恵子氏(研究者)
- 図版提供 ●(a)京都大学桂図書館(京都大学貴重資料デジタルアーカイブ) (b)(c)沢木泰昭「明治のジャパノロジスト プリングリーの「美しい国ニッポン」」2020,沢木事務所 (d)市政専門図書館デジタルアーカイブ (e)(f)筆者
- 注のない写真は、港区立郷土歴史館蔵「成瀬家新館写真帳」
- 主な参考資料 ●「ジョサイア・コンドル博士表彰」建築雑誌,第402号,1920 河東義之編「ジョサイア・コンドル建築図面集III」1981,中央公論美術出版 三田商業研究会編「慶應義塾出身名流列伝」1909,実業の世界社 正興電機製作所「正興電機製作所100周年史」2022 「麻布鳥居坂警察署誌」1931 「渋沢栄一伝記資料」第40巻,535-536頁 成島忠昭「西武グループのすべて」1960,日本実業出版社 児玉博「堤清二 罪と業 最後の告白」2016,文藝春秋 ●北条坂の近世史およびF・プリングリーについては本誌34号、J・コンドルについては本誌20号もご参照下さい。

「麻布未来写真館」とは

麻布地区総合支所では、地域への共感や愛着を深めていただくため、麻布地区の歴史やまちの移り変わりを記録、保存、継承する活動を行っています。

麻布地区の定点写真の撮影、昔の写真の収集等については、港区在住、在学で構成された区民映画組織「麻布を語る会 麻布未来写真館分科会」が主体となって活動しています。まちの歴史や文化を多くの方々に知っていただけるよう収集した写真をパネルとして港区ホームページや展示会で紹介していますのでぜひご覧ください。

「麻布未来写真館」では、古い写真を探しています!

明治から昭和にかけての麻布地区の建物や風景、お祭りなどの写真を募集しています。詳しくは、港区麻布地区総合支所 協働推進課 地区政策担当までご連絡ください。

お問合せ 電話:03-5114-8812

サモア独立国

面積:2,830平方キロメートル(東京都の約1.3倍)

人口:約218,764人(2021年、世界銀行)

首都:アピア

言語:サモア語、英語

元首:トウイマレアリイファノ・ヴァアレトア・スアラウヴィニ世閣下

議会:1院制 議員数51名、任期5年

サモア独立国

参考:外務省ホームページ

https://www.mofa.go.jp/mofaj/area/samoa/data.html

取材/サモア独立国大使館

ファアラヴァアウ・ペリナ・ジャックリオン・シラ・ツアラウレレイ
(Faalavaau Perina Jacqueline Sila-Tualaulelei) 駐日サモア独立国大使

SAMOA



大使を訪ねて 麻布の"世界"から

建国60年、南太平洋に浮かぶ宝島の魅力を探る

日本一高い麻布台ヒルズ、森JPタワーの向かいに建つビル5Fに、サモア独立国(以下サモア)大使館があります。日本との国交は50年を迎え、2023年は行事が盛りだくさん。お忙しい合間をぬって、ファアラヴァアウ・ペリナ・ジャックリオン・シラ・ツアラウレレイ駐日サモア独立国大使(以下大使)にお話を伺いました。

8年駐在しても、日本の魅力を常に発見

大使の日本駐在はご主人、現在高校生の息子さんと家族3人で2015年から。外交官としてのキャリアは長く、大使としてニューヨークに5年、その後ベルギー駐在を経て日本へ。以前、会議で2回来日した経験がある。

大使館は2021年7月に中央区新川から移転。その理由は「何と言っても、利便性に優れているので」と語られた。霞ヶ関の官公庁での会議にもすぐ行ける点、数多い港区の大使館とより親交を深められる点、大使館に訪問するお客様にとっても便利な点など。更に「目の前に麻布台ヒルズができて、ショッピングや食事を楽しめるので、とっても期待しています」とにっこり。

8年間で、日本の印象は変化したのだろうか？

「優れたホスピタリティの国という印象は、ずっと変わりません」全国を旅行している大使一家。忘れられない感動したエピソードを紹介して下さい。「旅先で道に迷い、コンビニに駆け込んで尋ねたところ、店員さんは説明に留まらず、案内までしてくれたのです」



桜の時期は魔法にかかっているよう

大使の日本愛の語りはまだまだ続く。「日本の歴史と伝統はもちろん、建築、芸術、食べ物、漫画、アニメ、あと温泉は外せません」また日本は四季がはっきりしていて、春の桜、秋の紅葉は毎年待ち遠しい。桜の見頃はたった2週間ほど。短期間に咲き誇る様子は感動という言葉しか出てこない。「まるで魔法にかかっているようです」と表現された。晩秋には紅葉を求めて全国に足を伸ばす。「ただ、東京の夏は暑過ぎますね」の一言に、取材スタッフ一同頷く。

一方、南半球にあり日本とは季節が反対のサモア。海水温度は1年を通じて28度。11月~4月が雨季で、平均気温は31度、乾季の5~10月の平均は27度で、旅行は乾季がおすすめ。常夏の国サモアは1年中温暖で、手つかずの自然が至る所にあると教えていただく。

サモアに行ったら フレッシュなシーフードを

話が進むにつれて、サモアへの興味が膨らむ。まずは食について伺う。寿司、刺身が大好きの大使は「サモアも日本と同様島国なので漁業はとても盛んです。そこら中に漁港があり、魚をよく食べます。サモア風お刺身のOka(オカ)は是非召し上がって下さい」

オカはサモア語で生の意味。刺身を食べやすい大きさの角切りにしたら、ライム果汁で和え、さらに塩、胡椒、玉ねぎ、トマト、



今後、日本での販路拡大を狙うコーヒー。輸入代理店を広く募集中。



魚介類の宝庫、サモアのご馳走はなんといってもシーフード。画像提供: Samoa Tourism Authority



世界で活躍するサモアの女性たち

サモアの食に続き、南太平洋の海、島内の山々の魅力も熱く語って下さった。最後にこんな質問をぶつけてみた。「サモアには女性大使は多いのですか？」女性の活躍は20年ほど前から飛躍的に伸びており、各国で活躍する女性大使は5名で、全体の半数を占める。現首相、財務大臣、中央銀行のトップなども女性だ。内閣の要職では女性を10%以上採用することが、法律で定められている。伝統を重んじながらも、前へ進んでいくサモアの逞しさが垣間みえて、日本も見習わなければと痛感した。

常に笑顔を決やさない大使のお話はとても印象深く、親近感を覚えました。知れば知るほど、南太平洋の宝島へ行きたくくなりました。

ドイツがサモアを領有していた19世紀後半に、ドイツ人がビール工場を作ったのが始まりというサモア産ビール。水が美味しいサモアだけに、自信を持っておすすめ！と、大使館スタッフ。コーヒーと同様、販路拡大展開中。



サモアの公用語はサモア語と英語。小学校の時から2つの言語をこなす子どもたち。画像提供: Samoa Tourism Authority



サモアの国技はラグビーでもとても盛ん。2023年のワールドカップでは日本と同じグループだった。試合では戦う前「シバタウ」の力強いパフォーマンスが有名。画像提供: twickenhamstadium.com



木の樹皮でできた布、シアポ(siaपो)はサモアを代表する伝統工芸品。タパ(tapa)とも呼ばれている。材料はカジノキ(クワ科)という木の樹皮を乾燥させ、薄く叩いたもの。自然の染料で幾何学模様絵付けしている。芸術性が高く、ハンドメイドのため、非常に高価。大使館でも額に収められ、飾ってあった。



サモアの名所、巨大天然プール「トスア・オーシャン・トレンチ」は火山活動で形成されたもの。首都アピアから車で1時間ほど。高さ30mほどの梯子を下り、神秘的な海に飛び込むことができる。画像提供: Samoa Tourism Authority

(取材・文/高柳由紀子)

麻布地区
地域事業

“ちょこっと立ち寄りカフェ”にお越しください

麻布地区総合支所では、地域の高齢者の皆さんが気軽に立ち寄って楽しく交流できる場所として、「ちょこっと立ち寄りカフェ」を開催しています。どなたでも気楽な雰囲気でお茶やコーヒーを飲みながら、おしゃべりや季節のイベントなどを楽しんでいただけます。毎月、麻布地区のいきいきプラザ4館で開催しています。ぜひ、ちょこっと立ち寄ってみてください。地域のボランティアも皆さんのお越しをお待ちしています。

会場及び内容

なお、プログラムは変更することがありますのでご了承ください。
イベント、講座、ゲームなどを行っています。

◆ 飯倉いきいきプラザ 東麻布2-16-11	◆ 西麻布いきいきプラザ 西麻布2-13-3
12/6(水) 干支作り	11/16(木) クリスマス・グッズ作り
1/10(水) 新春ゲーム大会	12/21(木) クリスマス・コンサート
◆ ありすいきいきプラザ 南麻布4-6-7	1/18(木) 新春落語会
11/9(木) 科学実験	◆ 南麻布いきいきプラザ 南麻布1-5-26
12/14(木) クリスマス・グッズ作り	11/22(水) あざぶ達人ラボ
1/11(木) 新春川柳会	12/27(水) 年末お楽しみ会
	1/24(水) 津軽三味線

※2月の開催はありませんので、ご注意ください。

- 時間** 毎回 午後1時30分から午後3時30分頃まで
- 対象** どなたでも
- 参加費** 無料 *茶菓の提供は当分休止しています。(茶菓提供の際は、別途100円を徴収します。)
- 申込み** 不要です。直接会場にお越しください。

お問合せ／麻布地区総合支所区民課保健福祉係 電話／03-5114-8822

麻布地区
地域事業

麻布未来写真館 活動に興味ある方の参加お待ちしております！

麻布地区総合支所では、区民とともに麻布の昔の写真の収集、現在の風景写真の撮影を行っております。

写真撮影をするためのまち歩きを行い、麻布地域への愛着を深めるとともに、撮影した写真をパネルとして保存し、麻布地区の今と昔を広く紹介します。

写真撮影がお好きな方、麻布の歴史に興味のある方、地域への愛着を深めたい方など、ぜひお気軽にお問合せください。



港区ホームページ



まち歩き撮影会の様子



お問合せ／麻布地区総合支所協働推進課地区政策担当
電話／03-5114-8812

都税事務所からのお知らせ

都税がスマートフォン決済アプリで納付できます

都税の納付にスマートフォン決済アプリを是非ご利用ください。アプリ内で納付書のバーコードを読み取るだけで、いつでも、どこでも、簡単に納付できます。

詳細は、東京都主税局ホームページをご確認ください。



主税局 HP

eLTAX電子納税が大変便利です

地方税共通納税システムでのeLTAX電子納税が大変便利です。インターネットバンキング等での納付やダイレクト納付に加えて、クレジットカード納付も可能です。

詳細はeLTAXホームページをご確認ください。



eLTAX HP

来所せずにお手続きができます

東京都主税局では、納税者の皆様が都税事務所等に来所することなく、郵送やインターネット等でお手続きできる仕組みを設けております。郵送や電子による申告、申請・届出、キャッシュレスによる納税方法等をぜひご利用ください。

詳細は、東京都主税局ホームページをご確認ください。



主税局 HP

東京ゼロエミ住宅の新築に対する不動産取得税(家屋)を減免します(23区内)

減免の対象と額は以下のとおり

- **減免の対象:** 太陽光発電システムの設置など、一定の要件を満たす新築の東京ゼロエミ住宅
- **減免割合:** 最大で住宅に係る不動産取得税の10割減免を受けるには申請が必要です。また、この他にも、耐震化促進税制等、住宅を新築したときに軽減を受けられる場合があります。

詳細は、東京都主税局ホームページをご覧ください。下記へお問い合わせください。



主税局 HP

お問合せ／港区にある物件について
港都税事務所 電話／03-5549-3800 (代表)

不動産登記申請時には課税明細書がご利用いただけます

不動産登記の申請を行う際には、登録免許税の算定のため、固定資産の価格を記載する必要があります。その価格は、「固定資産税・都市計画税 納税通知書」と同時期(6月)にお送りする、課税明細書をご確認いただけますので、有料の評価証明は原則不要です。

詳しくは東京都主税局ホームページをご確認ください。



主税局 HP

認定長期優良住宅(一定の要件を満たすもの)を新築した場合、固定資産税が減額されます～1月31日までに申告してください～

- **期間:** 新たに固定資産税が課税される年度から5年度分(3階建以上の耐火・準耐火建築物については7年度分)
- **軽減税額:** 固定資産税額(居住部分で1戸あたり床面積120㎡相当分までを限度)の2分の1を減額

住宅が新築された年の翌年(1月1日新築の場合はその年)の1月31日までに、減額の申告が必要です。

詳細は、東京都主税局ホームページをご覧ください。下記へお問い合わせください。

お問合せ／港区にある物件について
港都税事務所 電話／03-5549-3800 (代表)

耐震化のための建替え又は改修を行った住宅(一定の要件を満たすもの)に対する固定資産税・都市計画税を減免します(23区内)

減免の期間と額は、以下のとおり

- **建替え:** 新築後新たに課税される年度から3年度分について全額減免(居住部分に限る)。ただし、減免の対象となる戸数は、建替え前の家屋により異なる。
- **改修:** 改修工事完了日の翌年度分から一定期間、居住部分で1戸あたり120㎡の床面積相当分まで耐震減額適用後の税額を全額減免。減免を受けるには申請が必要です。詳細は、東京都主税局ホームページをご覧ください。下記へお問い合わせください。



主税局 HP

お問合せ／港区にある物件について
港都税事務所 電話／03-5549-3800 (代表)

港区麻布地区総合支所だより



令和5年度 港区総合防災訓練(麻布会場)を実施します。 ～在宅避難について考えよう～

過去の災害の教訓を踏まえ、今後発生が懸念される首都直下地震等の災害に備えるために、港区総合防災訓練(麻布会場)を実施します。在宅避難の重要性、必要な備蓄等について学び、各種消防訓練を体験してもらう訓練とします。また、新型コロナウイルス感染症の影響でできなかった炊き出し訓練を4年ぶりに実施し、新たな取組としては、おむつを活用した簡易トイレ実験やAR火災煙避難訓練・VR地震体験訓練等の先進的でリアルな訓練を行います。

加えて、今年は関東大震災から100年という節目の年として、過去の大震災を振り返る関東大震災コーナーを設けます。お子さんが楽しめるイベントも用意しています。是非お立ち寄りください。



日時 令和5年11月12日(日) 9:30～11:30 予定

場所 港区立六本木中学校(港区六本木6-8-16)

訓練内容

※内容が変更となる場合があります。



校庭

- 麻布警察署広報コーナー
- おむつ簡易トイレ実験
- 起震車体験
- 初期消火訓練(まちかど防災訓練車、模擬消火器)
- 炊き出し訓練
- はたらく防災・防犯車両展
- エレベーター停止動作訓練
- D級ポンプ取扱操作訓練
- 煙体験訓練



多目的室

- 関東大震災コーナー

体育館

- 防災周知コーナー(「防災を学ぶ日」スタンプラリー交換場所)
- 三角巾を活用した応急救護訓練
- 事業者防災展(東京都葛飾福祉工場、江崎グリコ株式会社、東京電力パワーグリッド株式会社、エピスタコーポレーション/株式会社プリート、東京ガスネットワーク株式会社、株式会社NTT東日本)
- 防災士コーナー
- AR火災煙避難訓練・VR地震体験訓練
- 在宅避難に役立つグッズ紹介等



同時開催!

防災を楽しく学ぼう「ぼうさいクエスト」

会場内の訓練で、クエストやクイズに挑戦!
クエストを達成し、もらったシールの数に応じて記念品ゲット!
ゲーム感覚で楽しみながら、在宅避難について学びましょう。



買い物
するなら
地元の
商店街で

ザ・AZABUへのご意見・ご要望をお寄せください

住所・氏名・職業(学校名)・電話番号・ご意見・ご要望(日本語又は英語、字数・様式自由)を書いて、直接又は郵送・ファックスで、〒106-8515 港区六本木5-16-45 麻布地区総合支所 協働推進課 地区政策担当へ。

●電話/03-5114-8812 ●FAX/03-3583-3782

地域情報紙「ザ・AZABU」はホームページからもご覧いただけます。



「ザ・AZABU」は英語版も4カ月後に発行しています。

ザ・AZABU

●配布設置場所ご案内
六本木一丁目、六本木、広尾、麻布十番、赤羽橋の各地下鉄の駅、ちいばす車内、みなと図書館、麻布図書館、南麻布・ありす・麻布・西麻布・飯倉の各いさきプラザ、麻布区民センター、麻布地区総合支所等
●本紙掲載の記事・写真・イラストの無断転載を禁じます。

Staff 井口真莉奈
おおばまりか
加生武秀
加生美佐保
Mai S.
高柳由紀子
田中亜紀
田中康寛
富田弥生
奈良美扶
畑中みな子
樋口政則
武藤佳菜
堀内明子
堀切道子
八巻綾子

編集後記

今号の巻頭記事は一の橋公園です。歴史ある公園が表情を変え、ふたたび麻布十番の人々の癒しスポットになりました。生まれ変わるものもあれば、新しく誕生するものもあります。今月、ついに日本一の超高層ビル「麻布台ヒルズ」がオープンします。数年後にはどんな街になるのか……。いつも想像を超えてくれる麻布の街が、私は大好きです。
(井口真莉奈)

「みなとコール」は暮らしの疑問にまとめてお答えします!

区役所のサービスや施設案内、催し情報など、お気軽に問合せください。
年中無休/午前8時～午後8時 ※英語での対応もいたします。
電話/03-5472-3710 FAX/03-5777-8752
お問合せフォーム/ <https://www.city.minato.tokyo.jp/kouchou/kuse/kocho/iken/form.html>
"Minato Call" information service
Minato call is a city information service, available in English every day from 7 a.m. - 11 p.m.
Minato Call: Tel: 03-5472-3710; Fax: 03-5777-8752;
Inquiry submission form: <https://www.city.minato.tokyo.jp/kouchou/kuse/kocho/iken/form-inquiry.html>